



日本共産党・そねはじめレポート とうきょう民報おりにこみ版

2011年 9月14日発行 第 12 号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel:3907-1135
Fax:3906-3225

9月6日に浮間水害地域住民ら14人が荒川河川事務所へ 翌日すぐ側溝を泥だし29日に説明会

●「2度と水害を繰り返さないで」と切望

8月26日の集中豪雨で、浮間1丁目の荒川スーパー堤防そばの住宅街に、堤防からの大量の雨水が流れ込み、車庫の車などが一気に水につかる被害がでました。

9月6日朝、被害住民全員署名による要請書、長年浮間の地域問題に取り組んでいる「浮間を良くする会」の要請書を持って、地元住民とそねはじめ前都議、永井朋子区議らが堤防管理者の荒川下流河川事務所を訪ね、所長らに下水溝の緊急改善と再発防止の総合対策を求めました。



04年10月堤防崩落調査。中央がそね都議（当時）

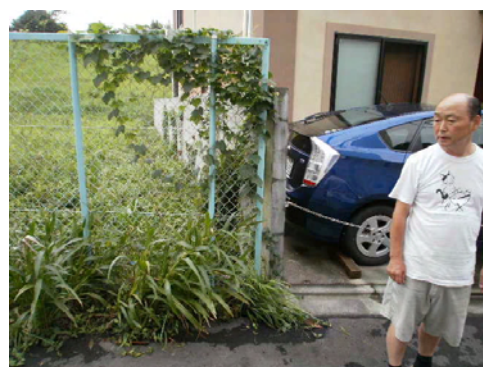
●被害住民ら14人がかけつけ所長室に

お知らせを見た被害地域住民の方々が、あとからあとから事務所にかけて、所長室はいっぱい。小島優所長は、「現在、豪雨当日のスーパー堤防の雨量や被害状況について詳しいデータがない」ので、「今月中に調べて報告したい」と繰り返すばかり。

被害者からは「スーパー堤防の崩落以来3度目の被害だ」「堤防上に防災ステーションをつかったために近所の被害が増えるのは納得できない」など口々に訴えました。

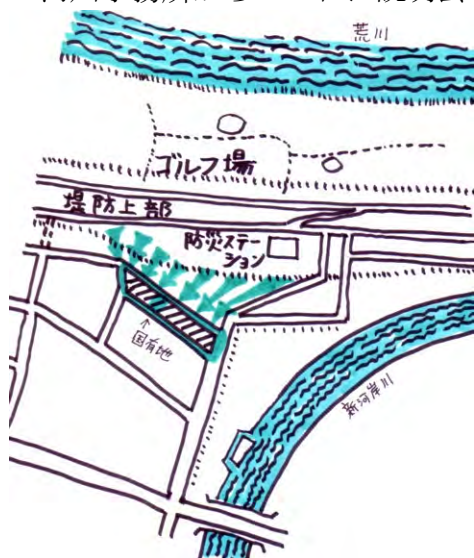
●翌日すぐに側溝の点検・清掃を実施

翌7日、河川事務所の緊急依頼を受けたと言う清掃業者が水が溢れた側溝につまった草や泥をかき出す作業を実施。しかし泥水が広がるルートとなった、住宅街の一角を国が購入した用地は手がついていません。



水が回りこんだ住宅隣りの国有地

河川事務所から29日に説明会を堤防上の防災ステーションで行うとの連絡がありました。住民代表のTさんは、ひきつづき堤防と防災ステーションの広い敷地といったいに降った雨が全て住宅街の小さな側溝に集中して流れ落ちる構造(左の図)の抜本改善を求めていこうとしています。



北区議会で本会議・決算委員会

北区議会は、9月12日に定例会開会。代表質問では本田正則区議が震災や原発、集中豪雨などの災害対策、区民の関心が高い初めての高齢者全員アンケートについてなど質問しました。13日はのの山けん区議が、放射線から子どもを守る対策や赤羽地域問題を質問。決算委員会では永井区議が、浮間・赤羽北の水害や放射線対策、赤羽西のまちづくり問題などを取り上げる予定です。

＊ ＊ 共産党都議団が定例会に向けこんだん会 ＊ ＊

9月13日夜、日本共産党都議団が9月21日開会の都議会定例会に向けて、都内の民主団体などと懇談を行いました。

新しく幹事長になった大山とも子都議、政調委員長の清水ひで子都議から報告。都民を忘れ、2020年オリンピック立候補に躍起の石原都政に対して、都民の願いを背にくらしや仕事を守るまともな都政をめざす基本姿勢を表明しました。

◆都が放射線測定に支援強化を

参加者からは、多摩地域でも土壌から日常の2～3倍にあたる放射能が検出され、都の測定や危機貸し出しの強化要望が出されていること、国保料値上げが深刻な診療抑制を起こしている調査結果が出た（民医連・前沢氏）こと、都の五輪立候補でマスコミが「また反対でがんばって」など期待して取材されているという新日本スポーツ連盟萩原理事長など報告されました。

◆クーラー設置補助、都営住宅基準改善などでとりくみを

また田村智子参議員の質問で切り開かれた生活保護受給者のクーラー設置の質問、石原知事の「破壊的な教育」の構想についての質問や要望が相次ぎました。クーラーは189件申込み中159件で実施。「地域主権改革」法により、都営住宅の入居基準が自治体裁量で変更可能となり、大阪府同様の改悪を食い止め、改善をめざすことなどが提起されました。

そねはじめ交友録<その六>

バンカラ先輩

吉田万三氏まさかの都知事候補に

北大で人形劇サークルに入会し、尊敬していた歯学部先輩から、噂のバンカラ学生で自治会でも活躍していた吉田万三さんの話を聞いて、どんな人かと思っていました。

就職で上京し、狭山湖畔の公園で赤旗まつりが開かれたとき、中央の舞台の歌手をよく見ため木登りしている人物を見つけて、北大出身の仲間が「あれきっと吉田万三さんだ」と言うので見ると、あの丸顔の人なつこい男性がおいってきました。これが最初の出会いです。

その後、民主医療機関連合の歯科部門の開拓者として活躍していた吉田万三さんが、共産党の躍進ブームの中で立候補した足立区長選で見事当選。大都市足立の区政のトップを支えるため、都議団は全面的に応援し、政策調査副委員長だった私も頻繁に関わるようになりました。

最後は、まさかの都知事候補として、2007年の都知事選挙をともにたたかいました。

いまま北区の選挙応援の演説を聞くと、バンカラ健在振りを発揮していました。

吉田万三さんが知事候補に決まった直後の赤旗まつりで、北大出身の都内の議員・活動家が集まり、応援組織を立ち上げました。

